

立教大学キリスト教教育研究所 (JICE) 主催

2020年1月18日(土)

14:00~16:30

立教大学池袋キャンパス

11号館3階 A301教室

2019年6月、非正規滞在外国人を収容する施設のひとつである大村入国管理センター（長崎県大村市）で、収容中だったナイジェリア人男性が、ハンガーストライキにより餓死する事件があった。「非正規滞在外国人」とは誰を指すのか？どのような背景で「非正規滞在」となるのだろうか。本講演会では、収容経験者の語りの事例をひもときながら、彼ら・彼女らがたどるライフコースを明らかにし、多声的な観点から非正規滞在外国人の人権について検討する。

竹内正宣氏

(行政書士・街の法務オフィス竹内 所長)

2010年4月に行政書士事務所を開設。以来、福岡の「街の行政書士」として、外国人権利擁護などを主な業務としている。また、「移住労働者と共に生きるネットワーク 九州」の事務局も務め、大村入国管理センターへの月例会面や外国人の無料相談も実施している。

吉田真由美氏

(NPO法人 ASIAN PEOPLE'S FRIENDSHIP SOCIETY 代表)

2016年より特定非営利活動法人 Asian People's Friendship Society (APFS) の代表を務める。30年あまり在留資格の有無に関わらず外国人支援を続けてきた同団体に、2006年から勤務。以来、相談活動を中心に、さまざまなケースを担当している。

三浦萌華氏

(立教大学社会学研究科 研修生)

立教大学院社会学研究科博士課程前期課程修了。現在同研究科 研修生として、入管収容経験を持つ非正規滞在外国人のライフストーリー研究を行っている。2012年からAPFSの活動にボランティアとして参画、被収容者への面会とヒアリングを行っている。

入管収容施設から 非正規滞在外国人の 人権を考える

要事前申込

📄 申込フォーム 📄

申込み・問い合わせ：立教大学キリスト教教育研究所
jice@rikkyo.ac.jp, 03-3985-2661

*事前申込は、QRコードかメールにて受付ております。

